

令和3年度（2021年度）
函館市社会学級活動のまとめ



函館市教育委員会
函館市社会学級生連絡協議会

発刊にあたって

函館市社会学級は、市民がよりよい家庭生活、社会生活を築き、教養と知識、技術等を学び合う成人教育の場として開設されてから75年目を迎えました。

昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により社会学級が1年間休止となりましたが、今年度は感染症対策を講じたうえで、市内の小中学校15学級（うち2学級は年度途中閉級）において社会学級が開設され、206名の学級生が全体講座で教養を高め、自らの資質の向上に取り組み、充実した学びを展開してきました。

このたび、令和3年度（2021年度）の各学級における学習活動等の成果を「社会学級活動のまとめ」として発刊することとなりました。

本書が今後の社会学級活動の充実と、学級生相互の理解を深められる資料として広く活用されることを期待いたします。

令和4年3月

函館市教育委員会
函館市社会学級生連絡協議会

目次

1	函館市社会学級開設要項	1
2	社会学級開設校一覧	2
3	各学級の活動報告	3
	青柳小学校…3 千代田小学校…4 柏野小学校…5 本通小学校…6	
	本通中学校…7 八幡小学校…8 桔梗小学校…9 赤川小学校…10	
	中央小学校…11 鍛神小学校…12 東山小学校…13 深堀小学校…14	
	日吉が丘小学校…15	
4	函館市社会学級生連絡協議会	16
	(1) 社会学級生連絡協議会役員およびブロック交流活動推進委員	
	(2) 活動報告	
	(3) 事業報告	
5	社会学級クラブ活動一覧	18
6	函館市社会学級生連絡協議会規約	19
7	社会学級のあゆみ	21
8	令和2年度函館市社会学級生連絡協議会のまとめについて	26

1 函館市社会学級開設要項

- 1 趣 旨 社会学級は、地域住民が自らの意思によって加入し、全体講座を通して主体的に学ぶことにより、教養と知識・技術等を学び合う成人教育の場として、教育委員会の求めに応じ、市内小・中学校が開設し、社会学級開設校（以下「開設校」という。）と社会学級生連絡協議会が責任をもって運営を行う。
- 2 主 催 函館市教育委員会
- 3 開設期間 令和3年4月1日から令和4年3月31日まで
- 4 開設場所 市立小・中学校15校
- 5 受講対象 開設校の校区内に住所を有する成人等（以下「学級生」という。）
- 6 社会学級の目標
- (1) 地域社会の一員として、地域づくり・学校支援等に協力する。
 - (2) 全体講座を主として、学級生が協力し合いながら自己教育・相互教育となるような学習に取り組み、クラブ活動への参加のみに限定することがないように努める。
 - (3) 全体講座の実施について、他の学級と合同で行うなど、開設校および社会学級主事が協力・工夫をし、社会学級の活性化につながる活動を展開する。
- 7 社会学級主事の設置と役割
- (1) 開設校に社会学級主事を置く。
 - (2) 社会学級主事は、学校長の推薦により、函館市教育委員会が委嘱する。
 - (3) 社会学級主事は、学級生とともに社会学級の運営を行い、必要に応じ学級生に対し、指導・助言を行う。
 - (4) 社会学級主事は、教育委員会との連絡事務を行うとともに、活動について把握し、適切な内容であることを確認のうえ、講座実施報告書を教育委員会へ提出する。
 - (5) 社会学級主事の報酬は、年額10,000円とする。
- 8 学級運営上の留意点
- (1) 社会学級の運営については、学級生と社会学級主事が協力しながら自主的に行う。
 - (2) 謝礼金を必要とする外部講師による講座を実施した場合は、1年度につき1学級ごとに1回5,000円を限度に教育委員会が負担する。
 - (3) 講座の講師謝礼金は、教育委員会において講座実施報告書を精査し、支払対象となる場合は、講師の指定する金融機関口座へ謝礼金を振り込むものとする。
 - (4) 学級生は複数の学級に所属することができる。
- 9 その他 家庭・社会生活の向上に寄与することを目的として、社会学級生連絡協議会を組織する。

2 社会学級開設校一覧

令和4年2月18日現在

ブロック	学級名	校長名	社会学級主事名	職名	学級長	学級生数(人)		
						男	女	計
1 ブロック	1 青柳小学校	須田 晃至	小棚木 こずえ	教頭	野澤 信子	0	12	12
	2 千代田小学校	高村 幸子	浦上 修一	教頭	敦澤 ひとみ	1	12	13
	3 柏野小学校	西口 昌司	長縄 達幸	教頭	杉山 琢也	4	6	10
	4 本通小学校	長谷川 巖	酒井 光史	教頭	遠藤 敏子	7	20	27
	5 本通中学校	仲井 靖典	葛西 広治	教諭	佐野 智美子・赤石 みつよ	0	8	8
	6 八幡小学校	松浦 一秀	能登 雅宏	教頭	赤塚 留美子	3	8	11
	7 桔梗小学校	佐々木 正幸	迫田 浩章	教頭	金澤 りさ	0	42	42
2 ブロック	8 北昭和小学校	近江 辰仁	若林 慎也	教頭	三浦 友枝子	年度途中で閉級		
	9 赤川小学校	長浦 紀華	浅野 友善	教頭	清水 浩次	8	7	15
	10 北美原小学校	新谷 公康	小仲 剛	教頭	松岡 日出男	年度途中で閉級		
	11 中央小学校	西田 直	笹原 史裕	教頭	原田 由紀子	0	6	6
	12 鍛神小学校	石川 嘉明	三上 泰司	教頭	浅川 安公子	0	16	16
	13 東山小学校	澤田 真次	竹内 昭夫	教頭	渋谷 裕子	6	11	17
	14 深堀小学校	島 修一	伊藤 圭	教頭	多田 成敏	7	5	12
	15 日吉が丘小学校	小笠原 学	田邊 奨	教諭	森若 悦子	0	17	17
計						36	170	206

3 各学級の活動報告

青柳小学校社会学級（学級生12名）

回	月	学習テーマ	学習方法	講師名	役職名
1	5	開講式	—	須田・小棚木	校長・教頭
2	6	【中止 6/17】美術鑑賞「西洋版画の魅力」	—	—	—
3	7	【中止 7/30】美術鑑賞「魔法の美術館」	—	—	—
4	9	【中止 9/22】博物館「企画展」	—	—	—
5	10	函館美術館「北の抒情と幻想 国松登展」	鑑賞	石井 紗輝	学芸員
6	11	北方民族資料館「世界に誇る北方民族コレクション」	鑑賞	木戸 忍	館長
7	3	閉講式	講話	小棚木 こずえ	教頭

【令和3年度の活動を振り返って】

<事業の紹介>

○5月講座「開講式」

日時 5月13日(水)11:00~12:00

場所 青柳小学校 図書室

参加者 12名出席

内容 須田校長先生、小棚木教頭先生(主事)ご挨拶
令和3年度の講座年間計画等について 他

※皆で集まって雑巾づくりができないため、家庭で手作りし、一人2~3枚ずつ寄付いたしました。



○10月講座「国松 登 展」

日時 10月21日(金)9:30~11:00

場所 北海道立函館美術館

参加者 5名出席

内容 函館出身の国松 登氏。北海道の自然や動物、人物など幻想的で独自の表現の作品が多く「雪原」「流水」「眼のない魚」「氷人」「星月夜」などを鑑賞。



○11月講座「世界に誇る北方民族コレクション研修」

日時 11月11日(木)10:00~12:00

場所 函館市北方民族資料館

参加者 10名出席

内容 広範囲にわたる厳しい大自然の中で生きてきた北方民族の伝統的資料が盛りだくさん。万物が神々であり精霊が宿る。時空を超えた精霊たちは人々の営みの中に甦る。世界的にも数少ない北方民族資料、6m38cmのバイダルカ(3人乗りのアリュートの皮舟)、山丹錦の鏡を利用した上下(前後)展示。また様々な生活用品にアイヌ文様を刺す、彫る、飾る。



※「函館市北方民族資料館」にある全てのコレクションは借り物とのこと。独自の持ち物は0個とは驚きですネ！アイヌ文様刺しには興味がありますので、機会がありましたら挑戦してみたいです。

千代田小学校社会学級（学級生13名）

回	月	学習テーマ	学習方法	講師名	役職名
1	5	開講式	講話	高村 幸子	校長
2	11	はこだて男女共同参画フォーラム 2021 「“ちがい”を認め合って共に生きる」	講話 (アーカイブ配信)	木村 泰子	大阪市立大空小学校 初代校長
3	3	閉講式 ※新型コロナウイルス感染症予防のため中止	講話	—	—

【令和3年度の活動を振り返って】

<事業の紹介>

新型コロナウイルス感染症禍の2年目に当たり、休止を余儀なくされる場面もありましたが、10月に入り、少しずつ活動を再開できたことはうれしい限りです。ガイドラインに沿いながら学級生が集い、クラブ活動ができるようになったことで、当たり前が当たり前ではなく、ありがたいことなのだと気付かされた1年でもありました。

千代田小の講座は、パークゴルフ講座、手芸講座、講話と考えておりましたが、開催することができていません。ただ1つ、11月14日の木村泰子氏講演会アーカイブ配信試聴会に2人で参加することができました。「ちがいを認め合って共に生きる」の講演は、直接お聞きしたかったと思うほど、力強いエールと優しいまなざしに満ちあふれていました。その自信に満ちたお話は、陰で、ご苦勞を重ねてきた証だと思います。

- ①違いを認めて生きる。
- ②すべての子どもに学習権がある。
- ③学校は作るもの。
- ④10年後、20年後の社会で生きて、働く力を育む。

有意義なお話でした。現役の先生とも一緒に聞きたい内容でした。

来年度に向けては、春先と秋は、活動しやすいサイクルに思えますので、この時期に講座を組み、実施していくことができたらと考えています。

学校で活動できましたことにも、感謝いたします。ありがとうございました。

柏野小学校社会学級（学級生 10名）

回	月	学習テーマ	学習方法	講師名	役職名
1	8	開講式	講話	西口 昌司	校長
2	10	はこだて男女共同参画フォーラム 2021 「“ちがい”を認め合って共に生きる」	講話 (オンラインライブ配信)	木村 泰子	大阪市立大空小学校 初代校長
3	3	閉講式 ※書面開催	—	—	—

【令和3年度の活動を振り返って】

<事業の紹介>

令和2年度に猛威を振るった新型コロナウイルス感染症は令和3年度にもその勢いが収まらず、前年度学級生の方の中には入級を見送った方もいました。また、仕事をしている学級生においては、勤め先から人が集まるような場所や会合への参加を自粛するように求められている方もおりました。社会学級生の減少と社会学級活動やクラブ活動をするのがままならない状態の1年間であり、非常に悔やまれる中で令和3年度を終えようとしています。

また、柏野小社会学級は、クラブ活動が1クラブ（ソフトバレーボール部）で、柏野小社会学級生相互の親睦と連帯感、また同じスポーツを通じて親睦・交流を深めることを目的として複数のソフトバレーボール親睦大会に参加していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により2年連続で開催されず、その目的が達成できなかったことを非常に残念に感じています。

新型コロナウイルス感染症も落ち着きを見せてきましたが、最近は日本各地でのオミクロン株の市中感染が報道されるようになっております。そのような中で社会学級活動（全体講座）を出来る限り実施して社会学級の目的を達し、学級生の更なる資質の向上の一役を担うようになれることを深く思うところであります。

新型コロナウイルス感染症が今後どのようなようになるかは未知数ですが、新しいスタイルの社会学級活動のあり方を模索し、社会学級生連絡協議会と手を携えながら社会学級活動が目指すところにたどり着くよう、残り少ない令和3年度と令和4年度の活動を進めていきたいと考えています。

本通小学校社会学級（学級生27名）

回	月	学習テーマ	学習方法	講師名	役職名
1	5	開講式	講話	長谷川 巖	校長
2	5	スポーツ教室	実習実技	遠藤 敏子	社会学級生
3	11	はこだて男女共同参画フォーラム2021 「“ちがいを認め合って共に生きる”」	講話 (アーカイブ配信)	木村 泰子	大阪市立大空小学校 初代校長
4	3	閉講式	講話	酒井 光史	教頭

【令和3年度の活動を振り返って】

＜事業の紹介＞

(1) 全体講座の実施

今年度はコロナ禍により、当初の計画に基づいた活動が難しい状態にありましたが、そのような中、10月30日に行われた、「はこだて男女共同参画フォーラム2021」の講演会のアーカイブ配信試聴会を、11月14日に全体講座として実施しました。

大阪市立大空小学校の初代校長、木村泰子氏の講演では、まず何よりも、我々大人が「多様性」の大切さについて学ばなければならないこと、そして「多様性」を認め合う世の中を、社会全体で構築していく必要があること等を学ぶ機会となりました。ご自身の豊富な実践と経験を熱く語る木村先生の話は、オンラインという形ではなく、改めて「直で聴いてみたい」と感じた次第です。



(2) スポーツ教室の実施

スポーツ教室については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、中断する期間もありましたが、久しぶりに学級生で集うことができる喜びを分かち合いながら、活発に実施することができました。

活動は、バドミントンとミニバレーボールの2種目を行いました。互いにケガの無いように、柔軟体操を入念に行うこと、そしてクラスターの発生を防ぐために、感染症対策に気を配ることの2つを重視しつつ、互いに教え合いながら、楽しく活動を行うことができました。



本通中学校社会学級（学級生 8 名）

回	月	学習テーマ	学習方法	講師名	役職名
1	6	開講式	講話	菅原 学	教頭
2	7	SDGs 持続可能な開発目標	講話	坂井 恵	社会学級生
3	10 ～ 11	エコクラフトのカトラリーケース &菓子器作り	実習実技	山田 ひろみ	社会学級生
4	11	手作りパン教室	実習実技	日下部 優子	「こすもす」 オーナー
5	3	閉講式	講話	仲井 靖典	校長

【令和3年度の活動を振り返って】

＜事業の紹介＞

前代未聞の流行り病のため、昨年1年間は社会学級活動も全くできずじまいでした。今年度は、いろいろな制約がある中でも、社会学級を再開することができて、大変嬉しく思っています。そして、大変なことが多い日々の中でも、私たち社会学級を温かく受け入れてくれた本通中学校の皆様には、本当に感謝しております。

今年度の活動は、学級生の坂井さんのSDGsの講座から始まり、山田さんのエコクラフト講座、パン作り講座などでした。私たちのできる範囲で精一杯の活動ができたことは、ちょっと誇らしいです。

「SDGs講座」は、SDGsがテレビやインターネットで盛んに取り上げられるようになり、もっと深く知りたいと思っていた時、学級生の坂井さんがSDGsについて詳しいと知り、講師をお願いして開講できました。それまでは、SDGsが単にエコな活動をするこ

とと思っていましたが、持続可能な17の開発目標のことだと知り、貧富の差の解消、ジェンダー平等、地球温暖化防止等、人間が生きていく中で直面する困難に対処する様々な活動のことだったので、大変勉強になり、考えさせられることが多かったです。

また、「エコクラフト作品作り」は、一つだけでは皆満足せず、つい二つ三つと作品を作る人が続出、「パン教室」は、開催できたことだけでも嬉しく、皆張り切ってパン作りに励みました。

来年度も何点かの「ものづくり」に挑戦するつもりですが、今、活動できることに感謝して、活動を進めてまいりたいと思っています。



八幡小学校社会学級（学級生 11名）

回	月	学習テーマ	学習方法	講師名	役職名
1	5	開講式	講話	能登 雅宏	教頭
2	10	函館美術館「北の抒情と幻想 国松登展」	鑑賞	—	—
3	11	はこだて男女共同参画フォーラム 2021 「“ちがい”を認め合って共に生きる」	講話 (7-カイブ配信)	木村 泰子	大阪市立大空小学校 初代校長
4	3	閉講式	講話	能登 雅宏	教頭

【令和3年度の活動を振り返って】

<事業の紹介>

○10月 講座 美術鑑賞 「北の叙情と幻想 国松登」展

○日時 10月17日（日） 14:00～14:30

○場所 道立函館美術館

○参加者 4名

◎戦後の混乱の中、思い描いた作品を鑑賞し、函館出身の作者の気持ちに思いを寄せ、国松登の生涯とその画業を知ることができた。

○11月 講座 はこだて男女参画フォーラム2021

木村泰子氏講演会 「ちがいを認め合って共に生きる」

○日時 11月14日（月） 13:00～15:00

○場所 函館市民会館 大会議室

○参加者 1名

◎特別な支援が必要とされる子供も同じ教室で学び、地域の人々の協力を得て学校の運営にあたってきたという体験談を聞き、現在子育ての真っ最中の人達にも聞いてほしいと思いました。

<活動のまとめ>

◎コロナ禍で講演会は中止となりましたが、週に一度のクラブ活動では会員の皆さんと親睦を深めることができました。次年度も、講座、クラブ活動を充実したものにしていきたいと思っております。

桔梗小学校社会学級（学級生 42名）

回	月	学習テーマ	学習方法	講師名	役職名
1	4	開講式	講話	—	—
2	7	美腸活講座	講話	上野 麻美	社会学級生
3	10	プリザーブドフラワー作り	実習実技	小林 裕美子	社会学級生
4	11	函館美術館「北の抒情と幻想 国松登展」	講話・鑑賞	—	—
5	3	閉講式 ※新型コロナウイルス感染症予防のため中止	—	—	—

【令和3年度の活動を振り返って】

<事業の紹介>

○全体講座

社会学級の実態に合わせて、全体講座として3つの活動を実施した。

7月は、上野麻美氏を講師として「美腸活講座」を実施した。腸内環境をバランスよく整えるために日々の食生活の重要性等について知ることができ、とても充実した講座となった。

10月は、小林裕美子氏を講師として「プリザーブドフラワー（実技研修）」を実施した。加工された生花を利用して、デザインや色遣いを工夫しながら個性を生かした作品作りを行った後に、相互鑑賞をして、個々の取組を振り返った。

11月は、函館美術館にて「国松登展」の絵画鑑賞を実施した。学芸員による説明を聞くことによって、画家の人生観が投影された画風とその変化を感じ取ることができた。

このように、多様な内容を設定することによって、学級員の視野を広げることができるように今後も活動を進めていきたいと考えている。



○学校・地域と繋がる活動

学級長が学校運営協議会に参加して、学校と地域を繋げる教育活動の一端を担うために奔走した。しかし、新型コロナウイルス感染防止により活動を広げることが難しかったため、登下校の見守り活動と本の読み聞かせ（予定）（ビデオ配信）が主な活動となった。

現在、学校では、ICT機器の推進が進んでおり、それらの活用を図りながら、今後の活動を工夫して推進していくことが必要であると考えている。

○まとめ

今年度も、学級生数が40名を超える学級となった。ただ、新型コロナウイルス感染防止のため、活動を進めることが困難であり、手探りの中で実施してきた。

講座や社会学級での活動を定期的に行うことによって人的交流を図ったり、学校・地域と繋がる活動を通して地域に貢献したりすることによって、心豊かに日々の生活を過ごすことができるように、次年度も意欲的に活動していきたいと考えている。

赤川小学校社会学級（学級生 15 名）

回	月	学習テーマ	学習方法	講師名	役職名
1	5	開講式	講話	浅野 友善	教頭
2	12	危機の時代におけるジェンダー平等	研修 (アーカイブ試聴会)	中満 泉	国際連合事務次長・ 軍縮問題上級代表
3	2	閉講式	講話	浅野 友善	教頭

【令和3年度の活動を振り返って】

＜事業の紹介＞

今年度の赤川小学校社会学級は、男性8名、女性7名、計15名での活動となりました。主にバドミントンを中心に活動していますが、コロナ禍の中実施できなかったものもあり、その中で会員が参加したフォーラムについて紹介します。

【12月17日 NWEC フォーラム：会場 函館市女性センター】

視聴会に参加しました。放映された動画は2本で、最初に国際連合に勤める中満泉氏による「危機の時代におけるジェンダー平等」から始まりました。日本ではこの問題は古くから存在し、ほとんど前進していないことがよく知られています。それを象徴することとして、日本を動かす議員や企業の役員には驚くほど女性が少ないのが現実です。男性に向いている役割や責任、女性に向いている役割や責任など、個人の希望や能力ではなく「性別」によって生き方や働き方の選択肢や機会が決められてしまうことがあります。そのようになると、重要な意思決定に女性が参加できなかつたり、賃金の格差が生まれやすかつたりする環境にあるのではないかと感じました。その中に女性の視点を組み入れるためにも、今後AI化が進む世の中で、その中に女性の視点を組み入れることが重要といったことも理にかなっていると感じました。女性が、一部の高齢男性に進路を握られている日本の現状を痛切に考えさせられた講演でした。

次の動画は「社会を変えるジェンダー平等の壁を乗り越えるために必要なこと」でした。これは、この方面で活躍されている3名のリモート討論でした。それぞれの携わった仕事から受ける事例や認識を披露していました。日本において男女格差が根強い問題として残っており、それを変えるために一人一人の意識改革が必要だと感じました。また、ジェンダー平等について深く反省し、考えさせられた有効な視聴会となりました。

今年度はコロナ禍で制限された中での活動となりましたが、その中ででき得ることを行ってきました。来年度はまた、学級全体で話し合い、社会学級活動を盛り上げていきたいと思っています。

中央小学校社会学級（学級生 6 名）

回	月	学習テーマ	学習方法	講師名	役職名
1	5	【中止】開講式	講話	笹原 史裕	教頭
2	8	【中止】社会学級生フェスティバル講演会	講話	山田 かおり	縄文 DOHMAN プロジェクト 代表
3	12	暮らしに活かせるアロマ講座 (バスソルト・重曹クレンザー作り)	講話・実習実技	池田 華奈	アロマインス トラクター
4	3	閉講式 ※新型コロナウイルス感染症予防のため中止	—	—	—

【令和 3 年度の活動を振り返って】

<事業の紹介>

令和 3 年度の活動がスタートしました。
開講式と活動は休止，講座も延期という中での
始まりでした。

時間の経過とともに，少しずつですが，活動が
できるようになり，全体講座については，美原町
会館で開講することができました。本稿は，この
全体講座について紹介させていただきます。



今年の全体講座は，アロマクラフト・インストラクターの，池田 華奈 さん（ふわりあん）
を講師としてお迎えしまして，年末等の掃除に活用できる重曹クレンザーを作りました。

参加者は，数種類のアロマオイルの香りを嗅ぎ，好みの香りを選んでいきます。
講師の先生によりますと，好きな香りで，副交感神経が刺激されてリラックス効果がある
ことや，同じ人でも，その日の体調によって，好む香りが変わってくるとのことでした。

お好みのアロマオイルを 2～3 種類選び，講師からアドバイスをいただきながら，ブレンドし，
重曹を混ぜて完成させます。さらに，講師の先生からは，バスソルトのご案内もして
いただきました。希望者は，好みのアロマオイルに塩を混ぜて完成させていきました。

年末の掃除に活用した人からは，「雑巾がけをする度にアロマオイルの香りがして，とても
良かった。」などの感想が聞かれました。

次年度は，コロナが収まり，少しでも多くの活動ができることを願っております。

鍛神小学校社会学級（学級生16名）

回	月	学習テーマ	学習方法	講師名	役職名
1	7	開講式	講話	三上 泰司	教頭
2	7	「平和への願い」をこめて千羽鶴作り	奉仕活動	風間 美智子	社会学級生
3	7	絵手紙を描いて公募展に応募しよう	実習実技	菊地 則子	日本絵手紙協会 公認講師
4	11	はこだて男女共同参画フォーラム2021 「“ちがい”を認め合って共に生きる」	講話 (アーカイブ配信)	木村 泰子	大阪市立大空小学校 初代校長
5	11	「わたしのまち自慢公募展」鑑賞	鑑賞	—	—
6	2	閉講式	講話	三上 泰司	教頭

【令和3年度の活動を振り返って】

<事業の紹介>

今年度は新型コロナウイルス感染予防をしながらの開講でした。

途中で活動休止になるなど、思うようには活動できませんでしたが、試行錯誤しながら学ぶことができました。

○7月5日16:00～感染予防のため体育館にて開講式、教頭先生のお話、学級生の紹介後に「折り鶴」を折り在宅等で仕上げ、市役所に届けました。

○7月19日15:30～絵手紙講座 講師 菊地 則子 氏
(絵手紙公認講師) 絵手紙ならではの筆の運び方など、講師の優しい指導の下集中して作品を仕上げ、作品を「わたしのまち自慢公募展」(実効委員長 北出 喜代彦 氏)に送付しました。



○11月14日13:30～はこだて男女共同参画フォーラム2021
木村 泰子 氏 講演会

「“ちがい”を認め合って共に生きる」(アーカイブ配信) 参加
全ての子どもが安心して生活できる環境(地域)を作らなければならない。4つの力
～①人を大切にする ②自分の考えを持つ ③自分を尊重する ④チャレンジする
～熱意あふれる先生の言葉から大きなパワーをいただきました。

○11月18日13:00～絵手紙「わたしのまち自慢公募展」鑑賞(五稜郭タワー)
緊急事態宣言のため、延期されていた公募展が開催され皆で鑑賞しました。

「わがまち自慢」というテーマで全国から出品され、
いろいろな地域のまち自慢を知ることができました。
五稜郭公園散策も兼ねて、久々に外に出での講座を楽しみました。
また、絵手紙の学習をしてみたいと意欲もわいてきました。
これからも感染予防をしながらの活動を楽しみ、学習していきたいです。



東山小学校社会学級（学級生 17名）

回	月	学習テーマ	学習方法	講師名	役職名
1	5	開講式	講話	竹内 昭夫	教頭
2	11	パワーヨガ	実習実技	山廣 恵美	PFA YOGA advance coach
3	3	閉講式	講話	竹内 昭夫	教頭

【令和3年度の活動を振り返って】

<事業の紹介>

昨年は楽しみにしていた活動が全く出来ずに寂しい思いをしていました。本年度は途中、緊急事態宣言になることもありましたが、開講式から始まり、全体講座、クラブ活動を無事に行うことが出来ました。みんなと会い、楽しく活動できたことに大きな喜びを感じました。

もちろん、感染防止対策としてガイドラインに従い、チェックリストやチェックシートはしっかりとやってきました。

○5月8日 「開講式」 参加者12名

体育館にて教頭先生のご挨拶と今後の活動の注意事項について

○11月20日 「ヨガ教室」 参加者9名

体育館にてヨガのインストラクターをお招きしストレッチをして普段使わない筋肉などの体をほぐしました。



笑いあり，悲鳴あり（笑）で大変楽しく過ごしました。

深堀小学校社会学級（学級生 12名）

回	月	学習テーマ	学習方法	講師名	役職名
1	5	開講式	講話	伊藤 圭	教頭
2	11	はこだて男女共同参画フォーラム 2021 「“ちがひ”を認め合って共に生きる」 ※配信視聴後の話し合い	講話	高山 香代子	社会学級生
3	2	小学校における SDGs について	講話	伊藤 圭	教頭
4	2	閉講式	講話	伊藤 圭	教頭

【令和3年度の活動を振り返って】

<事業の紹介>

5月 講座「開講式について」

日時 5月8日（土）13：00
場所 深堀小学校体育館 参加者8名

講師に深堀小学校教頭伊藤先生を迎え、コロナ禍での学校生徒の安全を最優先とした活動の注意点について話していただきました。私たちが高い意識を持って感染防止対策を遵守していくことの重要性について学びました。

11月 講座「学校・地域と繋がる活動」

日時 11月27日（土）13：15
場所 深堀小学校体育館 参加者7名

木村泰子氏講演会オンラインライブ配信を視聴し、子供たちを取り巻く環境について学級生で話し合いました。子どもも個々の集まりであり考え方も異なります。その異なりをお互いが認め合いながら尊重する行動が必要であると強く感じることであった講座でした。



<活動のまとめ>

昨年、今年度と社会学級活動を十分に行えない年となってしまいました。

会員の親睦を深める講座実施も少なかったことから来年度は密を回避できる屋外での活動やライブ配信を活用するなどの講座を開設していきたいと思っております。

日吉が丘小学校社会学級（学級生 17 名）

回	月	学習テーマ	学習方法	講師名	役職名
1	10	開講式	講話	小笠原 学	校長
2	1	函館美術館 「アートのみかた、カギはここにあり。美術をまるごと楽しもう！」	鑑賞	—	—
3	3	閉講式 ※新型コロナウイルス感染症予防のため中止	—	—	—

【令和 3 年度の活動を振り返って】

＜事業の紹介＞

日吉が丘小学校社会学級は、例年 4 月に開講式を行い、クラブ活動の合唱として毎週 2 時間の合唱練習、フェスティバルの発表会、児童合唱団との合同演奏や、地域ふれあいコンサートでの発表、講師の先生を招聘しての講座や施設の見学など、活発な活動を行ってきました。

今年度は緊急事態宣言やコロナウイルスの感染拡大により、10月15日にようやく開講式を迎えることができました。

開講式はまず、校長の小笠原学先生にお話をいただきました。続いて教頭の佐藤美加先生、社会学級主事の田邊奨先生、合唱指導の三國万里先生にお話をいただいて、学級生一同気持ちを新たにしました。半年ぶりに皆さんの元気な顔を見ることができたことは、大変に喜ばしいことでした。

例年のような活動に少しずつでも戻れるよう、感染に注意を払いながら、学級生で協力し、今後も日吉が丘小学校社会学級は楽しく活動していきたいと思っています。

4 函館市社会学級生連絡協議会

(1) 社会学級生連絡協議会役員およびブロック交流活動推進委員

	1ブロック	2ブロック
企画運営委員	<ul style="list-style-type: none"> ・野澤 信子【青柳小】 (副委員長) ・杉山 琢也【柏野小】 (副委員長) 	<ul style="list-style-type: none"> ・風間 美智子【鍛神小】 (委員長) ・増本 和枝【深堀小】 (会計・書記兼任) ・原田 由紀子【中央小】 (会計・書記兼任)
会計監査	<ul style="list-style-type: none"> ・佐野 智英子【本通中】 	<ul style="list-style-type: none"> ・清水 浩次【赤川小】
ブロック交流活動推進委員	<ul style="list-style-type: none"> ・杉山 琢也【柏野小】 	<ul style="list-style-type: none"> ・多田 成敏【深堀小】

(2) 活動報告

連絡協議会の開催		
第1回	5月(書面会議)	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度決算等の報告 ・今年度の運営方針・事業内容等の決定
第2回	7月5日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策について説明 ・社会学級生フェスティバル等について協議
第3回	11月8日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度事業実施状況の報告 ・「社会学級活動のまとめ」原稿作成について依頼 ・次年度の役員体制について協議
第4回	2月14日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度事業実施状況の報告 ・2月以降の講座実施報告書の提出について ・「社会学級活動のまとめ」作成について ・次年度の企画運営委員・ブロック交流活動推進委員について
監査会	3月23日(水)	社会学級生連絡協議会の会計監査
企画運営委員会の開催		
第1回	中止	
第2回	7月1日(木)	第2回連絡協議会について協議
第3回	10月29日(金)	第3回連絡協議会について協議
第4回	2月14日(月)	第4回連絡協議会について協議
第5回	3月23日(水)	次年度の活動計画等について協議

社会学級生フェスティバル実行委員会の開催
令和3年度は、新型コロナウイルス感染予防のため、クラブ交歓会は行わず講演会のみ実施することとしたため、フェスティバル実行委員会の開催はありませんでした。 (最終的には、講演会開催直前に、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が発令されたため、講演会も中止となりました。)
ブロック交流会・見学体験学習の開催
令和3年度はブロック交流会および見学体験学習の開催はありませんでした。

(3) 事業報告

社会学級生フェスティバル

開 催 趣 旨	社会学級生の日頃の活動や学習の成果等を発表し、交流を深めるとともに、広く市民に社会学級の取り組みを紹介し、参加を促すことを目的として開催する。 (令和3年度は、新型コロナウイルス感染予防のため、クラブ交歓会は行わないこととしました。)		
開催内容・日時・会場・参加, 観覧人数等			
開会式・講演会	8月30日(月) 10:00~11:15	市民会館 小ホール	新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言発令により中止

5 社会学級クラブ活動一覧

令和3年5月12日現在

	クラブ名	学級名	人数	学級名	人数	学級名	人数
スポーツ	バドミントン 6学級 66名	本通小	16	八幡小	10	赤川小	14
		中央小	4	東山小	10	深堀小	12
	ソフトバレー 3学級 31名	千代田小	12	柏野小	10	鍛神小	9
	卓球 2学級 9名	中央小	2	東山小	7		
	ミニバレー 2学級 15名	本通小	4	桔梗小	11		
	スポーツクラブ合計	121名		学級生全体に占める割合		67.2%	
文化	合唱・コーラス 2学級 36名	桔梗小	19	日吉が丘小	17		
	手芸 2学級 17名	青柳小	9	本通中	8		
	ボランティア 1学級 6名	鍛神小	6				
		文化クラブ合計	59名		学級生全体に占める割合		32.8%

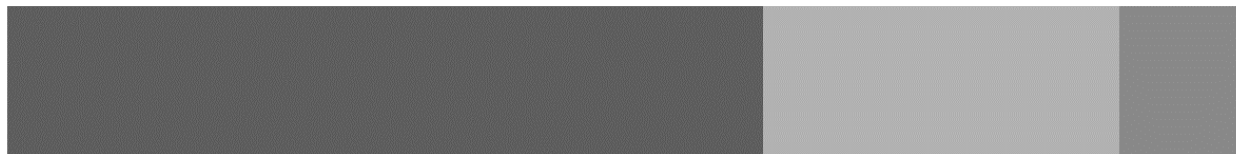
※学級生数=180名 (R3.5.12現在)

バドミントン 66名(54.5%) ソフトバレー 31名(25.6%) 卓球 9名(7.4%) ミニバレー 15名(12.4%)



スポーツクラブ全体 121名

合唱・コーラス 36名(61.0%) 手芸 17名(28.8%) 絵手紙 6名(10.2%)



文化クラブ全体 59名

6 函館市社会学級生連絡協議会規約

(名 称)

第1条 この会は、函館市社会学級生連絡協議会と称する。

(事務所)

第2条 この会の事務所を函館市教育委員会事務局内におく。

(目 的)

第3条 この会は社会学級の発展を図るため、情報交換等により社会学級の運営について研究し、あわせて家庭・社会生活の向上に寄与することを目的とする。

(事 業)

第4条 前条の目的達成のため、次の活動を行う。

- (1) 運営・活動状況の交換および研究資料の収集
- (2) 社会学級合同の講座交歓会、その他行事の開催
- (3) その他本会の目的達成に必要な事項

(会 員)

第5条 この会は、社会学級の代表2名以内の委員をもって組織する。

(役 員)

第6条 この会に次の役員をおく。

- | | |
|--------|-----------------------|
| 会長 | 1名 |
| 副会長 | 2名 |
| 企画運営委員 | ブロックから1名（うち書記2名、会計2名） |
| 会計監査 | 2名 |

(役員を選出)

第7条 役員を選出は次のとおりとする。

- (1) 会長および副会長は原則として、前年度企画運営委員の中から、年度当初の例会において選出する。
- (2) 会長および副会長は、企画運営委員会の委員長および副委員長を兼務する。
- (3) 企画運営委員は、ブロックごとに1名を互選する。
- (4) 書記・会計は、企画運営委員の中から選出する。

(役員任期および任務)

第8条 役員任期は1年とし、再任をさまたげない。任務は次のとおりとする。

- (1) 会長は、本会を代表し会務を総括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。
- (3) 企画運営委員は、企画運営委員会を構成し、会務の執行を決定する。
- (4) 書記は、この会の書記を担当する。
- (5) 会計は、この会の会計を担当する。
- (6) 会計監査は、この会の会計を監査する。

(会 計)

第9条 この会の会計年度は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わるものとする。
この会の経費は、会費その他の収入をもってあてる。

(会 議)

第10条 この会は次の会議を設ける。

- (1) 例会

(2) 企画運営委員会

第11条 例会は、会員をもって構成し、次の事項を議決する。

- (1) 規約の改廃
- (2) 役員の変更
- (3) 事業の計画の決定
- (4) 事業報告の承認
- (5) 収支予算の決定
- (6) 収支決算の承認
- (7) その他重要事項

2 例会は、年4回とし会長が招集する。ただし、会長が必要と認められた時は、臨時会を開催することができる。

第12条 企画運営委員会は、次の事項を決定する。

- (1) 例会の議決した事項の執行に関する事。
- (2) 例会に付議すべき事項に関する事。
- (3) その他例会の議決を要しない会務の執行に関する事。

2 企画運営委員会は、会長が必要と認められたとき、または企画運営委員の3分の1以上から会議の目的たる事項を示して請求があったとき開催することができる。

第13条 この規約は、年度当初の例会において変更することができる。

(相談者)

第14条 この会に相談者をおく。

教育委員会の職員と社会学級主事は、社会学級等の企画運営にあたって相談に応じる。

付 則

- この規約は、昭和36年7月26日から施行する。
この規約は、昭和38年6月11日から施行する。
この規約は、昭和57年4月1日から施行する。
この規約は、昭和59年4月26日から施行する。
この規約は、平成元年4月27日から施行する。
この規約は、平成8年5月17日から施行する。
この規約は、平成12年5月10日から施行する。
この規約は、平成15年5月28日から施行する。
この規約は、平成18年5月16日から施行する。
この規約は、平成24年5月16日から施行する。
この規約は、平成25年5月15日から施行する。

※ 申し合わせ事項

- (1) 企画運営委員の選出にあたってはブロック内で特定の学級に偏らないよう配慮する。
- (2) 会長および副会長1名は、前年度の最終の企画運営委員会で内定し、次年度の第1回連絡協議会において報告し、承認を受ける。
- (3) 各種交歓会は希望学級の参加により開催するものとし、参加人数が足りず単独学級で参加出来ない場合は足りない学級と合同で参加することができる。

7 社会学級のあゆみ

年 代	社会学級のあゆみ	時代の流れ
1945 (昭和20)	<社会学級の創出>	第二次世界大戦終戦
1946 (昭和21)		婦人教養施設「母親学級」の委嘱
1947 (昭和22)	若松小学校が社会学級を開設する (北海道庁の指定校となる)	文部省「父母と先生の会」設置に関する資料配付
1948 (昭和23)	常盤, 八幡小学校が社会学級を開設する	社会学級開設委嘱の開始
1949 (昭和24)	若松, 常盤小学校が文部省指定校となる	社会教育施行令公布, 小中学校で社会学級が始まる
1952 (昭和27)	社会学級の学級数が小学校19, 中学校5の24学級となる	
1953 (昭和28)	市川房枝氏を講師に, 社会学級の合同講演会を開催する	
	<社会学級の整備>	
1954 (昭和29)	教育委員会が社会教育方針に「社会学級の発展助長」を挙げ, 社会教育資料「各社会学級講座運営計画書」を紹介する 若松小学校が文部省指定校となる	
1955 (昭和30)		第1回日本母親大会が開かれる テレビが普及する
1960 (昭和35)	青柳小学校社会学級が文部省指定校となる	
	<社会学級の充実>	
1961 (昭和36)	函館市社会学級生連絡協議会が発足する (社会学級数33) 研修旅行を学習に取り入れる 全市合同社会学級レクリエーション大会を開催する 社会学級生グループ作品展を市民会館で開催する	高校全員入学問題全国協議会が結成される
1962 (昭和37)	第1回社会学級生グループ作品展を丸井今井デパートで開催する 全市合同研修会を板東義憲氏, 渡辺 茂氏を講師に労働会館で開催する	家庭教育の振興策として国庫補助事業が始まる
1964 (昭和39)	常盤小学校社会学級が市研究指定校となる 道徳教育充実のため, 学校教育との連携を重視する	
1965 (昭和40)	社会学級の当面する諸問題について意見交換する	全国子供連合会の設立 中教審が「期待される人間像」草案を発表する
1966 (昭和41)	家庭および地域環境の健全化と青少年指導の徹底に努める	

年 代	社会学級のあゆみ	時代の流れ
1967 (昭和42)	第1回社会学級生コース交歓会を開催する (社会学級数39/2, 352名) 社会学級の課題として「学級運営のあり方」を 取り上げる	
1969 (昭和44)	第1回社会学級生スポーツ交歓会を開催する	
<社会学級の充実発展>		
1971 (昭和46)		社会教育審議会が「急激な社会 構造の変化に対応する社会教 育のあり方」について答申する 「主婦の生きがい論」の思潮が 起きる
1973 (昭和48)	「家庭教育の手引き」を発行する	オイルショックが起きる
1975 (昭和50)		国際婦人年
1976 (昭和51)	社会学級研究会を開催する(婦人の立場を見直し ながら40代からの生きがいを考える・親と子の あり方, しつけを考える・子どもの生活環境と 学習塾を考える・子どもの遊び, 自然との関わり を考える・子どもの進路指導を考える)	国連国際児童年に関する決議 がされる
1978 (昭和53)	社会学級生と青少年問題委員との懇談会が開催 される	
1981 (昭和56)	研究主題「主体的な活動を求めて」を掲げ, 社会 学級の原点を見つめ直す	国際障害者年
1982 (昭和57)		女性による老人問題シンポジ ウムが開かれる
1986 (昭和61)	社会学級生の意識調査を実施する(社会観, 人生 観, 社会学級観, 学習意識等について)	教育改革に関する第二次答申
1987 (昭和62)	社会学級生グループ作品展の会場を市役所に 移して開催する(社会学級数52, 社会学級生数 4, 169名)	教育課程審議会が「学校教育に おいての生涯学習の基礎の 育成について」が答申される
1988 (昭和63)		昭和63年教育白書に「生涯 学習の新しい展開」が示される
1989 (平成元)	社会学級生グループ作品展の会場を丸井デパー トに移して開催する	消費税導入(3%)
1990 (平成2)	社会学級セミナーで「社会学級のあり方」を取り 上げる 社会学級生グループ作品展の会場をテーオー 小笠原に移して開催する(16学級が出品)	
1991 (平成3)		中教審が「新しい時代に対応 する教育の諸制度の改革に ついて」答申する
1992 (平成4)	スポーツ交歓会にミニバレーが加わる	第1回生涯学習フェスティバルが千葉市で開催される 学校週5日制実施

年 代	社会学級のあゆみ	時代の流れ
1993 (平成5)	スポーツ交歓会にソフトバレーが加わる	第1回フォーラム家庭教育が開かれる
1994 (平成6)		児童の権利条約が日本国内で発効される
1997 (平成9)	社会学級主事会が発足する 社会学級主事会が社会学級活動推進資料「共に学び豊かな心を」を作成する 社会学級生の意識調査を実施する(社会観, 学級運営, 学習認識, クラブ活動, 人間関係について) 社会学級生グループ作品展を市民会館で開催する	消費税が5%になる 拓銀倒産
1998 (平成10)	スポーツ交歓会(ソフトテニス)の会場をサンリフレ函館に, 音楽発表会の会場を芸術ホールに移して開催する 社会学級主事会が社会学級活動推進資料「函館の街なみと体験学習」を作成する	長野オリンピック開催
1999 (平成11)	初となる見学体験学習を実施する(青森市/90名) 初となるブロック交流活動を行う 社会学級主事会が社会学級活動推進資料「楽しく学べるモデルコース」を作成する	
2000 (平成12)	親子ふれあい体験学習を函館公園で実施する 「社会を明るくする運動」で法務大臣より感謝状を受ける 社会学級主事会が社会学級活動推進資料「はこだての伝説と昔話」を作成する	
2001 (平成13)	見学体験学習を実施(ニセコ/80名) 社会学級主事会が社会学級活動推進資料「函館・歴史・時代」を作成する	
2002 (平成14)	見学体験学習を実施(江差/78名) 社会学級生フェスティバルを芸術ホール, 市民体育館で開催する 社会学級主事会が社会学級活動推進資料「はこだて港物語」を作成する	サッカーワールドカップ日韓同時開催
2003 (平成15)	見学体験学習を実施(渡島東部/45名) 社会学級生フェスティバルを芸術ホール, 市民体育館で開催する	
2004 (平成16)	見学体験学習を実施(大沼公園 45名) 社会学級生フェスティバルを芸術ホール, 市民体育館で開催する 社会学級主事会が社会学級活動推進資料「楽しく学べるモデルコース」の一部見直しを行う 社会学級の現状把握のためのアンケート調査を実施する	駒大苫小牧高校が北海道勢として史上初の甲子園優勝 新潟県中越沖地震発生 道内の自治体で初の市町村合併, 函館市・戸井町・南茅部町・恵山町・椴法華町の1市3町1村が合併, 函館市となる

年 代	社会学級のあゆみ	時代の流れ
2005 (平成17)	見学体験学習を実施(三内丸山遺跡/27名) 市民体育館工事のため、社会学級生フェスティバルを芸術ホール、青年センター、小学校体育館、サンリフレ函館で開催する 西部地区で一般市民向けの社会学級体験講座を初めて実施する(高盛小/10名)	愛知万博開催 兵庫県尼崎市でJR福知山線脱線事故が発生 駒大苫小牧高校が甲子園連覇
2006 (平成18)	見学体験学習を実施(江差/45名) 社会学級60周年記念、社会学級生フェスティバルを芸術ホール、市民体育館、市民プール、サンリフレで開催する 社会学級開設60周年記念祝賀会をホテルオークランドで行う(76名)	トリノオリンピックで荒川静香選手がフィギュアスケートで日本人初の金メダル獲得 教育基本法改正
2007 (平成19)	見学体験学習を実施(八雲/52名) 社会学級生フェスティバルを芸術ホール、市民体育館で開催する	中空土偶が北海道初の国宝に指定される
2008 (平成20)	社会学級生フェスティバルを芸術ホール、市民体育館、市民プールで開催する 見学体験学習を実施(知内/48名)	
2009 (平成21)	社会学級生フェスティバルを芸術ホール、市民体育館、市民プールで開催する 見学体験学習を実施(旧4町村/46名) 社会学級あゆみ展を中央図書館で開催する	函館開港150周年
2010 (平成22)	社会学級生フェスティバルを芸術ホール、市民体育館、市民プールで開催する 見学体験学習を実施(森/52名)	根岸英一教授と鈴木章名誉教授がノーベル化学賞を受賞
2011 (平成23)	社会学級生フェスティバルを芸術ホール、市民体育館、市民プールで開催する 見学体験学習を実施(縄文文化交流センター/73名)	東日本大震災発生
2012 (平成24)	社会学級生フェスティバルを芸術ホール、市民体育館、市民プールで開催する 見学体験学習を実施(市内西部地区/50名)	京都大学の山中伸弥教授がノーベル生理学・医学賞を受賞
2013 (平成25)	社会学級生フェスティバルを芸術ホール、市民体育館、市民プールで開催する 見学体験学習を実施(市電乗車体験・見学/39名)	2020年の夏季オリンピックの開催地が東京に決定 富士山が世界文化遺産に決定
2014 (平成26)	社会学級生フェスティバルを芸術ホール、市民体育館、市民プールで開催する 見学体験学習を実施(市内・七飯町/44名)	消費税が8%になる 五稜郭築造150周年
2015 (平成27)	社会学級生フェスティバルを芸術ホール、函館アリーナ、市民プールで開催する 見学体験学習を実施(恵山・榎法華/26名)	函館アリーナ供用開始 大村智名誉教授がノーベル生理学・医学賞を、梶田隆章教授がノーベル物理学賞を受賞

年 代	社会学級のあゆみ	時代の流れ
2016 (平成28)	社会学級生フェスティバルを芸術ホール，亀田福祉センター，函館アリーナ，市民プール，サン・リフレ函館，遺愛女子高校で開催する 見学体験学習を実施（七飯／45名）	北海道新幹線開業 初のフルマラソンとハーフマラソンを併せ，函館マラソン開催 リオデジャネイロ・パラリンピックで辻沙絵選手と池崎大輔選手がそれぞれ銅メダルを獲得
2017 (平成29)	社会学級生フェスティバルを市民会館，サン・リフレ函館，函館アリーナ，芸術ホールで開催する	
2018 (平成30)	社会学級生フェスティバルを函館アリーナ，芸術ホール，駒場小学校体育館で開催する	北海道命名150周年 北海道胆振東部地震発生
2019 (平成31 ／令和元)	見学体験学習を実施（市立函館博物館／74名，ロープウェイ／44名） 社会学級生フェスティバルを函館競輪場テレシアター，函館アリーナ，芸術ホール，旭岡小学校体育館，函館サンリフレで開催する 新型コロナウイルス感染症予防のため，2月25日から3月31日までの全ての社会学級活動を停止	新元号「令和」施行 「北海道・北東北の縄文遺跡群」がユネスコ世界文化遺産の国内推薦候補に選定 新型コロナウイルス感染症が発生
2020 (令和2)	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により社会学級を1年間休止	亀田交流プラザ供用開始 全都道府県に新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が発令
2021 (令和3)	新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の発令により，5月18日から6月20日まで，ならびに8月28日から9月30日まで社会学級を休止	「北海道・北東北の縄文遺跡群」がユネスコ世界文化遺産に登録 1年延期された東京オリンピック・パラリンピックが開催 パラリンピックで池崎大輔選手が銅メダルを獲得

8 令和2年度 函館市社会学級生連絡協議会のまとめについて

会長 風間 美智子

令和2年度の社会学級活動につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、殆どの活動を中止致しました。学級生の皆様には大変ご心配をおかけいたしました。

また、皆様のご理解とご協力をいただきながら、社会学級を継続することができましたことに感謝申し上げます。

令和2年度の「函館市社会学級活動のまとめ」の作製も中止し、足跡を残すことができませんでした。

つきましては、この度の「令和3年度 函館市社会学級活動のまとめ」に追記いたします。

1 令和2年度社会学級生連絡協議会役員およびブロック交流活動推進委員

	1ブロック	2ブロック	3ブロック	4ブロック
企画運営委員	・野澤 信子(副委員長) ・杉山 琢也(副委員長)	・菊地 則子(書記)	・風間 美智子(委員長) ・松岡 日出男(会計)	・増本 和枝(会計) ・大石 恵子(書記)
会計監査		・金澤 由美子 ・赤塚 留美子		
ブロック交流活動推進委員	・杉山 琢也(柏野小)	・菊地 則子(南本通小)	・風間 美智子(鍛神小)	・多田 成敏(深堀小)

2 会務報告

連絡協議会			企画委員会		
第1回	5月18日	書面会議	第1回	6月	中止
第2回	7月2日	中止	第2回	8月	中止
第3回	11月17日	北海道教育センター	第3回	11月9日	北海道教育センター
第4回	2月18日	中止	第4回	1月	中止
監査会	3月25日	北海道教育センター	第5回	3月25日	北海道教育センター

3 社会学級生フェスティバルおよび実行委員会、ブロック交流活動、見学体験学習は中止

4 令和2年度 社会学級数 20学級 ・ 社会学級生数 351名(男75名・女276名)
(青柳小・駒場小・千代田小・柏野小・本通小・南本通小・本通中・八幡小・桔梗小・北昭和小・赤川小・北美原小・亀田中・中央小・鍛神小・神山小・東山小・深堀小・日吉が丘小・旭岡小)

※ 令和3年度以降は、南本通小・神山小・駒場小・亀田中・旭岡小社会学級は閉級。
北昭和小・北美原小社会学級は令和3年度の途中で閉級。

* 亀田中学校社会学級長 水間 政江 様より閉級にあたりご挨拶をいただいております。

亀田中学校社会学級の閉級にあたり

亀田中学校社会学級は、長い歴史があり私の入会当時多かった学級生も最近では14名と減少致しました。充実した活動を長年継続できたのも校長先生はじめ主事の先生、指導して下さった講師先生のご協力が有ったからと感謝しております。学校では生徒の元気な挨拶に微笑ましさを感じ元気を頂き活動の励みとなりました。

活動では、悩みながらも精一杯作品を仕上げ、フェスティバルや美原祭、体験学習などいろいろ思い出されます。

企画委員、連絡協議会会長も経験し、男女共同参画で海外の現状を見聞きする機会もありました。

社会学級の活動を通して様々な体験や学習をさせていただきました。

この度、今後について学級生で話しあった結果、諸般の事情により閉級することになりました。大変、残念ではありますが、これからは陰ながら応援していきたいと思っております。長い間、ありがとうございました。

閉級された学級生の皆様、長い間の活動ありがとうございました。